

パワフル先輩、かっこいい後輩

支部長 笠井ひで子（昭 44 年卒）

新米支部長、皆様のご助力を得て、1年間何とか大過なく務めることができました。

静まり返った会場での挨拶というのが苦手で、平気そうな顔をしておりますが、結構あがったり、うろたえたりしておりました。

評議員会や支部総会、そして山形での同窓会総会などで同窓の皆様と接するたびにつくづく感じましたのは、先輩の方々の活発で意欲的なことと、後輩たちのきびきびとしていて何事もスマートで早いことです。

支部総会の出席者が多く、学年独自の活動も非常に活発なのが昭和30年代卒前後の皆様です。グループ活動や、素人の域を超えた様々な趣味や特技に力を発揮しておられます。喜寿の先輩方が作られた記念文集にはその迫力と生き方のしなやかさに圧倒されました。

毎年の準備学年は急な招集にも関わらず大勢集まってくださり、様々な持ち味を生かしてテキパキと準備

し総会を運営してくれます。ともかく話が早い。あっという間に仕事を分担し、メールで連絡したり資料をやり取りしたり、本当に頼もしいです。

昨年は山形で還暦を祝う会があり、久しぶりに山形の同期生たちと会いました。約100名の出席者があり、卒業以来42年振りで会う人もたくさんいました。何十年ぶりであろうとすぐ昔のちゃんに戻ってしまえるのが同窓生のいいところ。大興奮で喋りまくりました。みんな様々な経験や苦労を経て年相応の貫録を身につけていましたが、それが昔の顔と違和感なく重なります。

先輩、同期、後輩、色々な方と出会い、語り合う機会が得られることを幸せに思います。このつながりの場を維持し、より楽しく頼もしいものにしていくために、役員一同今年も頑張ってます。変わらぬご支援をお願い申し上げます。

二七の会（になの会）のこと

評議員 小川英子（昭 27 年卒）

昨年、平成22年11月、私達の同期会二七の会は静かに幕を下ろした。A4版の喜寿記念文集『私達の時代』を残して。

昭和21年、旧制最後の高等女学校に入学したあどけない顔の乙女達も、64年の歳月を経て、すっかり年相応のおばあさんになった。何しろ喜寿を迎えてしまったのだから当然のこと。けれど二七の会の友と顔を合わせれば、お互い年のことなんか一向に意に介さない。喜寿なんて嘘みたいと誰もが思う。それに現代の人の年齢は昔と比べると七掛けだという。それに当てはめてみれば77歳を四捨五入して80歳としても、56歳。まだ還暦前となる勘定だ。我が意を得たりとにんまりするものの、眼は霞む、足腰は痛む、物忘れに悔しい思いをすることということで、否応なしに現実引き戻されてしまう。

しかし、友の存在には昔も今も変わりはない。会えばすぐ昔に振り返りを忘れる。久しく会わず名前を思い出せなくとも気にしない。ちょっと話せば笑顔の中に懐かしさを共有出来るのだから。何と言っても私達は、物資の乏しい時代、校舎もなく教育環境も最悪の中、第一高女、四高併設中学、第四高校、南高校と校名も変わり、時代の波に翻弄されながら六年間を過ごした仲なのだ。そして高2になるまで4年間下級生もいなかった。それだけに結びつきは一段と強いのかも知れない。

山形で毎年開かれていた二七の会は、輝かしい数々の思い出と、沢山の友情を残して終わりを告げた。その間、親しかった幾人かの友と永遠の別れもした。

でも、幸いなことに東京二七の会はまだ終わりを告げてはいない。今秋も懐かしい人達に会える。楽しみはまだ続く。

総会準備学年より

奥山 由子 (昭59年卒)

今年度の支部総会の準備は昭59年卒が担当させていただきます。

現在集まって進めているメンバーのほとんどが卒業以来の再会、総会への参加も初めての人が大半を占めています。それなのに一度顔をあわせるとそんな歳月などなかったかのように、なんの隔たりもなくすぐにあの頃と変わらない会話を交わしています。同じ学び舎で3年間を過ごしたという絆がこんなに温かく楽しいものだと思えるのは各々が過ごしてきた年月ゆえでしょうか。

今年の総会のエンターテイメントでは昭55年卒の医師の山口トキコ先生に「医師として、女性として生きる喜び」というテーマでお話をいただくことになりました。先生は日本で初めての女性肛門科医としてマスコミなどでも多数活躍をされていらっしゃいます。どんな有意義なお話がうかがえるのか私どもも楽しみにしているところです。

今年度も、来てよかった、また来年もと思っただけの総会の開催を目指して力をあわせてがんばってまいりますので、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成22年度 活動報告

1月 20日	新旧役員会 / 監査 / 引継ぎ
2月 10日	第1回評議員会 / 役員・総会準備学年(58年卒)会
27日	東京支部プレゼンテーション(本部同窓会入会式にて)
3月 6日	総会準備学年打ち合わせ会
4月 10日	総会準備学年打ち合わせ・案内状準備
12日	第2回評議員会 / 役員・準備学年会
18日	第6回ウェルカムパーティ(於:イプリミ虎ノ門)
5月 18日	第3回評議員会 / 役員・準備学年会
6月 5日	総会準備最終打ち合わせ(於:ホテルオークラ東京)
13日	嚶鳴同窓会東京支部総会
29日	役員会
7月 7日	第4回評議員会 / 役員・準備学年反省会
10月 28日	役員会
11月 14日	嚶鳴同窓会本部総会
20日	総会準備学年引継ぎ会(58年卒から59年卒へ)

平成22年度 会計報告

支部長 笠井ひで子
会 計 四津明美
" 高橋清美

<一般会計>

1.収入の部	
前年度より繰越	1,253,124円
年会費	1,034,000円
総会費	2,720,000円
本部より助成金	50,000円
ご祝儀	93,000円
雑収入(郵貯利子)	450円
計	5,150,574円
2.支出の部	
会議費	142,070円
印刷費	73,695円
事務用品費	59,950円
通信費	265,145円
渉外費	165,305円
役員・準備学年活動費	155,860円
事業費	
総会	3,039,392円
ウェルカムパーティ	38,832円
東京支部プレゼンテーション	6,270円
ホームページ	10,360円
計	3,956,879円

3.差引残高 1,193,695円
*1月~6月の運営費として、平成23年度へ繰り越し

<特別会計(一筆箋・はがき)>

1.収入の部	
前年度より繰越	404,901円
一筆箋売上げ(389冊)	194,500円
はがき売上げ(11セット)	2,200円
口座利子	161円
計	601,762円

2.支出の部	
一筆箋外袋代金	5,235円
一筆箋増刷代金(1800冊)	230,000円
総会事業補助	100,000円
計	335,235円

3.差引残高 266,527円
*次回印刷費として平成23年度へ繰り越し

<監査報告>

帳簿・領収書等を照合の結果、適正に行われていることを認めます。 会計監査 岡崎ヤス、結城洋子

平成23年度 役員

東京支部長 笠井ひで子(昭44年卒)	顧問 遠藤 倭久(昭30年卒)
副支部長 伊藤 優子(昭49年卒)	" 田中 克子(昭32年卒)
" 中島 幸子(昭50年卒)	
庶務 設楽 エク(昭43年卒)	
" 関根 博子(昭44年卒)	
会計 高橋 清美(昭55年卒)	平成23年度 総会準備学年
" 茂木 ゆかり(昭56年卒)	代表 奥山 由子(昭59年卒)
広報 四津 明美(昭54年卒)	片桐 恵子
監査 橋本 節子(昭28年卒)	本間 理恵
" 結城 洋子(昭45年卒)	

支部長、副支部長、顧問については昨年と同じ体制です。
庶務・会計は、学年の順送りとなっており、当該学年より推薦されました。
監査については、支部長が選任いたしました。
今年度から新しく「広報」の役職が追加されました。ホームページ、支部だより、東京プレゼンなど、広報活動に関する職務を担当します。

お知らせ

住所や姓が変わられた方は、eメールで手続きができます。
ホームページに情報の掲載を希望される方、一筆箋やはがきの購入申し込みをされる方も、eメールをご利用ください。
同窓会のeメールアドレス dousoukai@oumei.jp